

10月20日から28日にかけて、「RUN<sup>とも</sup>伴京都2018」が行われました。RUN<sup>とも</sup>伴とは、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目的に、認知症の方と地域の方が出会う機会作りとして、1本のタスキを全国につないでいくイベントです。

20日、市内では医療や福祉関係団体の職員、地域の支援者や認知症当事者ら約50人が参加しました。参加者は認知症のイメージカラーであるオレンジ色のシャツを着て、沿道や近くの商店から声援を受けながら、認知症への理解あるまちづくりを目指して走りました。



▲沿道の声援を受けながら走る参加者

## 「認知症の方に優しいまちを目指して」

(10/20 RUN伴京都2018)

## 「感謝祭イベントと賑う仮装パレード」

(10/27 なんとん商工感謝祭)



◀お菓子の掴み取りをする子どもたち

10月27日、南丹市商工会が主催する「なんとん商工感謝祭」が国際交流会館で行われました。会場では、人気キャラクターショーなどのステージイベントや商工会会員事業所のPRや飲食ブースが立ち並び、多くの市民が来場されました。

また、宮町、本町、上本町の商店街とシンボルロードでは「まちなかハロウィン×そのべ軽トラ市」が開催され、協力店ではお菓子を配布。約200人の参加者があり、自慢の仮装を身に着けた親子らで賑わいました。

## みんなのひろば まちの話題を紹介します



▲特産品が立ち並ぶ飲食ブース

11月3日、「美山ふるさと祭」が市役所美山支所周辺で開催されました。ステージショーでは、地元グループを中心とした和太鼓やコーラスなどが披露され、会場は大いに賑わいました。飲食ブースでは、栃もちや栗ごはんなどが用意され、来場者は美山で採れた秋の味覚を楽しんでいました。

また、市内の小中学生が府内産木材で作成した木工作品を表彰する「府内産材もくもくコンクール」の表彰式や町内を巡り歩く「美山かやぶきの里ワンデーマーチ」など多彩なイベントが開催され、多くの方が秋の美山を満喫しました。



▲府内産材もくもくコンクール表彰式の様子

## 「秋晴れのふるさと美山を楽しむ一日」

(11/3 美山ふるさと祭)